

*clausa* NAKAI ガ朝鮮ニアルガ、コレニ似テ正開スル花ヲ出スモノモ亦アル。後者ヲ *var. normalis* F.M. つぼみニ對シテさくはなぎぼうしトシタ。又同ジク朝鮮ニ廣ク本種ニ似テ、葉短ク黒綠色強韌ノ劍形ヲ呈スル種ヲつるぎぼうしトシテ分ケタ。

Sect. **Picnolepis** F. MAEKAWA いはぎぼうし節 主トシテ岩上ニ生ジ、葉ハ強剛、開花遅ク、苞ハ薄膜質舟形デ重ナリ美シイ。花冠ハ細筒部ハ圓柱形或ハ稍々鈍稜アリ。

Sect. **Foliosæ** F. MAEKAWA すぢぎぼうし節 苞ハ綠色ノ舟形デ密ニ重襲スルガ、花冠ハ多肉、細筒部ニハ溝ヲ生ジナイ、花莖ニハ極メテ屢々顯著ニ葉ヲツケル。

Sect. **Helipteroides** F. MAEKAWA おほばぎぼうし節 苞ハ多數集合シ平開シ、シカモ大抵白化セルタメ上ヨリ見レバ圖ノ如ク星芒狀或ハ太陽ノ觀ヲ呈スル。おほばぎぼうしヲ中心トスル大形ノ一群デアル。コノ内くろぎぼうしハ葉ニ特異ノ白霜アルコト、厚味アリ全ク平滑、基脚ハ顯著ニ捲クコト等デ種ニ引上ゲタ。ひうがぎぼうしハ菊池教授ノ命名デ、甚ダ變ツタぎぼうしデアル。葉ハ多形デアルガ色淡ク脈ノ走向ニ一種ノ特徴ガアル。花莖ハ屢々猛烈ニ葉ヲ伴ヒ、白質花ハ密集シタ總狀ヲナシテ秋日ニ開ク、日向デ發見サレ、土佐ノ山地デモ見出サレタ。

(續ク)

## ~~~~~

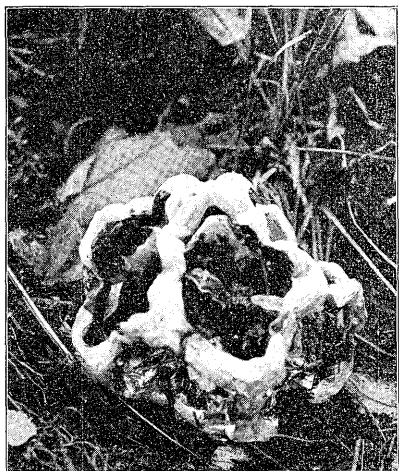
## *Ileodictyon* 屬ハ *Clathrus* 屬ニ包含 スルヲ可トス

籠茸ノ屬ハ *Clathrus* トスルヲ妥當トシ *Ileodictyon* トスルハ非ナリ

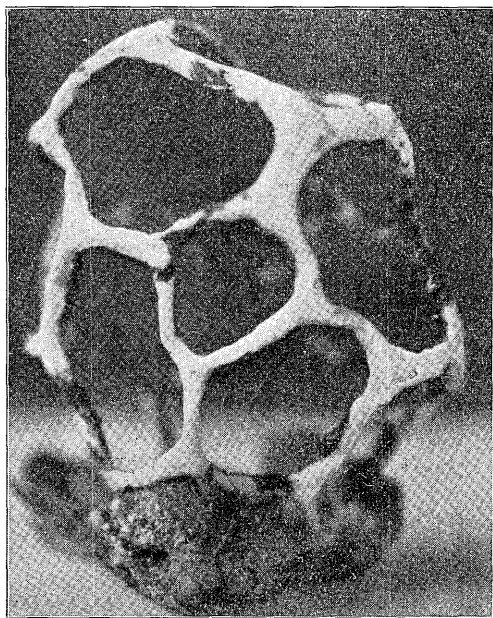
川 村 清 一

S. KAWAMURA: The genus *Ileodictyon* ought to be included in  
the genus *Clathrus*.

かごたけ及近邇ノ一種ノ菌ノ分類上ノ所屬ニ就テハ、現今一般ニあかかごたけ [*Clathrus cancellatus* (TOURN.) FR.] ト同屬トシテ夫々 *Clathrus gracilis* (BERK.) SCHLECHT., *Clathrus cibarius* (TUL.) SCHLECHT. ナル學名ガ用キラレテ居ル。併シ昔 TULASNE ガ此後者ニ初メテ學名ヲ與ヘタ際ニハ、あかかごたけヲ基本トスル *Clathrus* 屬ノモノトスルニハ、屬トシテ性質ニ異ル所ガアルトテ、特ニ新屬ヲ設ケテ *Ileodictyon cibarium* TUL. ナル學名ヲ與ヘタ。又其翌年ニ BERKELEY ガかごたけニ初メテ學名ヲ與ヘタ際ニモ、其同屬異種トシテ *Ileodictyon gracile* BERK. ト命ジタ。然ルニ後ニ至ツテ SCHLECHTENDAL ハ是



第 1 圖 かごたけ (*Clathrus gracilis*)  
ノ托ガ伸展シツ、アルモノ (×2/3)  
(原寛氏寫眞)



第 2 圖 かごたけ (*Clathrus gracilis*) ノ托ガ十  
分ニ擴張セルモノ (×4/5) (原寛氏寫眞)

等ノ兩菌ノ屬ハ *Clathrus* トスルヲ妥當ト  
認メ、かごたけニ向ツテ學名ヲ *Clathrus*  
*gracilis* (BERK.) SCHLECHT. ト改メタノ  
デ、之レガ今日一般ニ用キラレテ居ルノ  
デアル。併シ乍ラ今尙是等ノ兩菌ニハ  
*Ileodictyon* ナル屬名ヲ用キテ居ル人ガ  
アル。外國ノ菌類書中 ENGLER-PRANTL.:  
Pflanzenfamilien ノ FISCHER ガ擔當セ  
ル菌類ノ部ヤ、菌全屬ヲ網羅シ檢索表ニ  
シテ示シテ居ル CLEMENTS & SHEAR 著  
The Genera of Fungiニモ *Ileodictyum* ヲ  
バ *I. cibarium* TUL. ヲ例ニ採ツタル屬ト  
シ、*Clathrus cancellatus* (TOURN.) FR. ヲ  
基本種トスル *Clathrus* 屬ト明カニ區別  
シテ居ル。

抑々 TULASNE ガかごたけノ  
爲ニ *Clathrus* 屬ヨリ離レタ別  
屬 *Ileodictyon* ヲ設ケタノハ今  
ヨリ 93 年前ノ昔デアツテ、當時  
僅少ナ材料然モ乾燥標本ニ就テ  
爲サレタ觀察ハ、正確ヲ得テ居  
ナカツタコトガ後ニ判カツテ來  
テ、かごたけノ二種ハあかかご  
たけ屬 *Clathrus*ニ屬スベキガ正  
シイ分類ノ仕方デアルト多クノ  
學者ニ認メラル、ニ至ツタノデ  
アル。かごたけノ二種ハ共ニ歐  
米ニハ産シナイ菌デアルカラ、  
其ノ眞ノ性質ガ歐米ノ菌類學者  
全部ニハ知ラレテ居ラズ、從ツ  
テ菌類全般ニ互ル著述ヲスル場  
合等ニ於テ、著者ノ中ニハ是等  
ノ所屬ノ適否ヲ特ニ檢討スルコ

ト無ク、只昔ノ TULASNE ノ意見ヲ其儘襲用シテ、現代ノ著述中ニモ *Ileodictyon* 屬ヲ用キテ居ル者ガアルノデアル。而シテ日本ニ於テハ最近本誌第 13 卷第 4 號ニ小林義雄君ガ籠茸ノ學名トシテ屬ニ *Clathrus* ヲ用フルハ廣義ニ據ルモノデ、正シクハ *Ileodictyon* 屬トスベキデアルト述ベテ居ラル、ノデ、爰ニ私ハかごたけノ屬ハ *Clathrus* トスルガ正シイトノ卑見ヲ述ベルコトニシタノデアル。

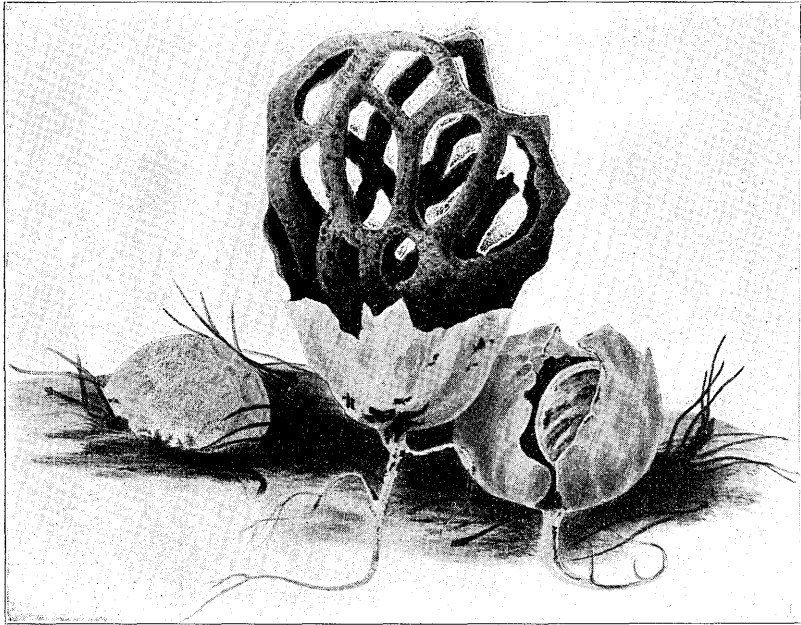
*Phalloids* 類ノ珍奇ナ種類ハ殆ンド歐米ニハ産シナイト謂ツテモヨイ程デアルガ、あかかごたけハ歐米ニモ産シ、英・佛・獨ノ昔ノ菌類圖譜ニモ載ツテ居ル。第 3 圖ニ示スモノハ FISCHER ノ圖デ諸書ニ轉載サレテ居ルモノデアル。從來あかかごたけノ形態トシテ記サレテ居ル多クモノハ此圖ノモノノ様ニ、全形ガ洋梨形デ下部ハ細マツテ居リ、網目ガ不規則デアリ、目籠狀ニ連結セル托 (Receptaculum) ノ枝ハ赤色デ皺ガアリ、脚苞 (Volva) ハ脱離シ難イト云フノガ本菌ノ性質トサレテ居ル。之ニ對シかごたけヤかごたけノ一種 *Clathrus cibarius* ハ共ニ托ノ全形ガ球狀デ、目籠狀ニ連レル托枝ハ白ク表面ハ平滑デ扁平ナルコトリボンノ如ク、網目ハ多角形、脚苞ハ極メテ脱離シ易イト云フノガ其性質トシテアツテ、是レガ爲あかかごたけトかごたけトノ屬ヲ *Clathrus* ト *Ileodictyon* トニ分ケルト云フノデアル。斯



第 3 圖 あかかごたけ (*Clathrus cancellatus*) (FISCHER 圖)

居ルノハ、畢竟あかかごたけハ托ノ伸展ノ十分ナラザルモノヲ捕ヘ、かごたけハ老熟シテ托ガ脚苞ヨリ離脱セルモノ、而モ壓搾セル腊葉標本又ハ乾燥シテ托ノ枝ガ扁平ニ變化セルモノヲ捕ヘテ、兩々相比較セシニ依リ生ジタル結果デア

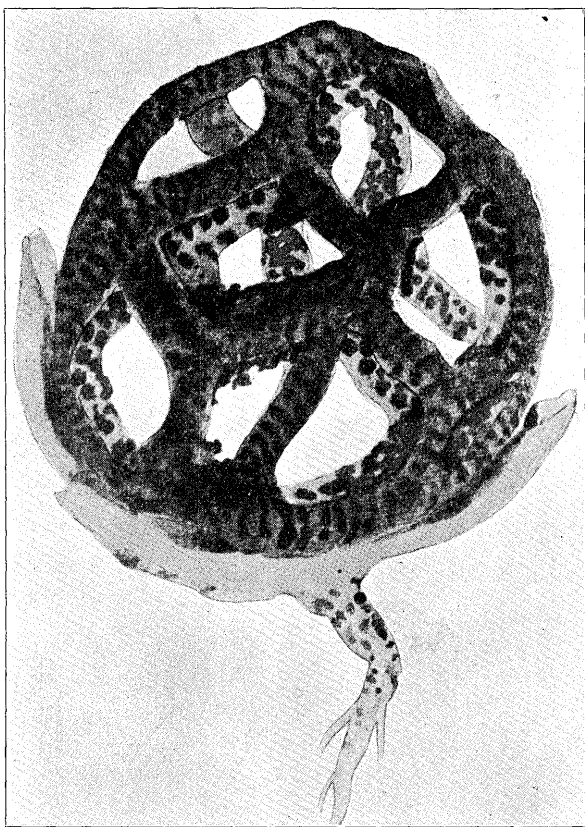
ツテ、兩者共ニ生長ノ同程度ノモノヲ以テ比較スレバ、決シテ斯ノ如キ兩者間ノ性質ノ相違ヲ判然ト認メ難イノデアル。



第4圖 あかかごたけ (*Clathrus cancellatus*) (HUSSEY 彩色圖ヲ縮寫)

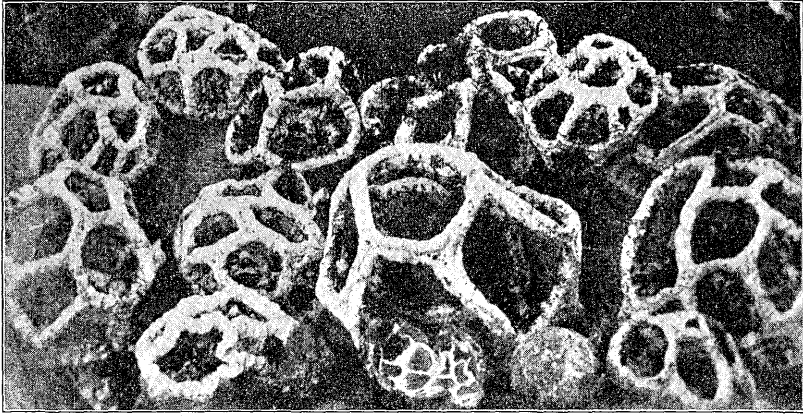
あかかごたけハ目籠狀ナル托ガ充分伸展セザル間ニ採ラレタリ、又風土ノ關係デ充分擴ガラズニ終ルモノガ多イ爲ニ、今迄圖ヲ寫眞ニ示サレテキルモノノ多クハ、本菌ノ特徴トシテ從來述ベテアル形態ノモノデアル。即チ FISCHER ノ示セル圖(第3圖)モ、拙著「日本菌類圖說」No. 192ニ示ス圖モ共ニ托ノ伸展未完成ノモノデアルカラ、全形ガ洋梨狀デ、其基端ハ脚苞ノ内面中央部ニ附着シテ居テ未ダ離レズ、托枝ハ縮ツテ伸展中ノモノデアル。從ツテ皺ガアツテ、網目モ多角形ト云ヒ難イ不規則ナモノデアル。歐洲デハ本菌ハ主ニ南部ニ産シ、英國ヤ獨逸等ニハ產出ガ極ク稀デ、從ツテ良標本ヲ得ルコトガ困難トサレテ居ル。中デ HUSSEY ハ既ニ 1847 年ノ7月英國デ採レタ標本ヲ當時精密ニ着色圖デ示シテ居ル(HUSSEY: Ill. Brit. Myc. Pl. 86)。第4圖ニ示スモノハ夫レヲ縮小轉寫シタモノデアルガ、是ニ就テ觀ルト托ハ大分能ク擴ガツテ居ルカラ、横皺ハ伸び、網目ハ多角形ト謂ヒ得ルモノニナツテ居ル。更ニ風土ガ本菌ノ發生ニ適スル伊太利デハ、BRESADOLA ノ著 Iconographia Mycologica (BRESA-

DOLA : Icon. Myc. Vol. XXIII, Tab. 1132, [1932]) ニ示セル如ク (第5圖)、托ガ完全ニ擴張シタ爲、全形ハ正シク球狀デ、網目ノ多角形ナルコト、托ガ脚苞カラ分離セルコト等、總テかごたけノ性質トシテ數ヘ舉ゲラレタル條件ガ、皆此あかかごたけニ於テモ現ハレテ居ルコトヲ明示スルモノデアル。次ニかごたけノ側ニ就テ申セバ *Clathrus cibarius* ガ多數同時ニ採レタ際發生ノ場所デ最モ新鮮ナル狀態ノ許ニ生長ノ各階段ニアルモノヲ撮ツタ寫眞(第6圖)ニ就テ觀ラル、通、かごたけデモ托ノ伸展セザルモノハ、托枝ガ縮マツテ皺ノ明瞭ニアルモノガアリ、決シテ扁平ナルコトリボンノ如シト形容シ得ルモノハ一ツモ無イコトガ判ルデアラウ。



第5圖 あかかごたけ (*Clathrus cancellatus*) 自然大  
(BRERADOLA 彩色圖)

目籠狀ヲナセル托ガ脚苞カラ分離スルコトハ、かごたけデハ常ニ自然ニ輕ク分離スルノガ常デ、あかかごたけニ於テハ浸液標本ニシタ後モ尙能ク分離セズニアルモノガアルノハ、前述ノ如クあかかごたけノ托ハ伸展ガ未完成ニ終ツテ居ル場合ガ多イカラデアル。托ガ球狀ニ充分擴張セルモノデハ、あかかごたけデモかごたけニ於ケル如ク、容易ニ離レルモノデアル (第5圖)。彼ノすつぽんたけ屬 (*Phallus*)、きつねのゑふで屬 (*Mutinus*) 等ノ諸菌ニ於テモ、柱狀ナル莖ノ下端ガ尖ツテ脚苞ノ内面中央部ニ附着シテ居ルモノガ、早期ニ採集シタモノデハ莖ハ脚苞カラ離レ難ク、液浸標本ニシテ脚苞ガ裏返ヘシニナツテモ



第 6 圖 かごたけノ一種 (*Clathrus cibarius*) (CLARKE 寫眞)



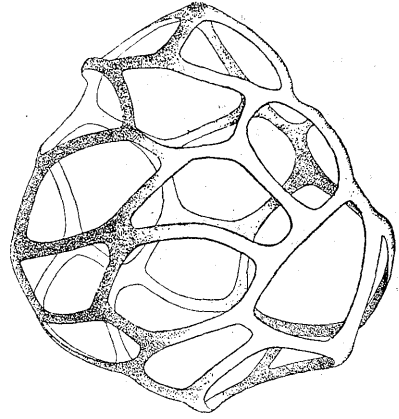
第 7 圖 かごたけノ一種 (*Clathrus cibarius*)  
(腊葉標本ノ寫眞)

尙能ク莖ノ下端ニ附着シテ  
離レナイデ居ルコトノアル  
ノハ、吾人ノ經驗スル所デ  
アルト同時ニ、老成シタル  
モノデハ、野ニアル自然ノ  
儘デモ、莖ハ脚苞カラ離レ  
テ横ニ倒レルモノガアルコ  
トモ、亦吾人ノ常ニ目撃ス  
ル所デアル。かごたけ屬デ  
モ夫レガ同ジ譯ナノデア  
ル。かごたけノ托ヲ構成セ  
ル枝ハ、扁平デリボン狀ノ  
モノデアルト觀察サレ、夫  
レガ特徴ノ一ツトシテ舉ゲ

ラレタノハ、英國 Kew Gardens ノ Herbarium ニアル *Clathrus cibarius* ノ壓  
搾サレタル腊葉標本(第7圖)ヤ New Zealand デ採レタモノガ歐洲ニ送ラル、  
迄ニ多クノ月日ヲ經テ乾燥シキツタ標本ニ基キ描ケル BERKELEY ノ圖(第8圖)  
ノ様ナモノニ據リ下サレタ誤ラレタル觀察デアツテ、生ノ時ハ托枝ハ常ニ管狀  
デ、決シテリボンノ如ク扁平ナモノデハ無イノデアル。然ルニ夫レヲ “Walls  
of the receptacle ribbon-like, hollow” ト現代ノ菌類書ナル CLEMENTS & SHE-  
AR: The Genera of Fungi, p. 170, (1931) ニ記シテ、此特徴アルニ依リ *Clathrus*

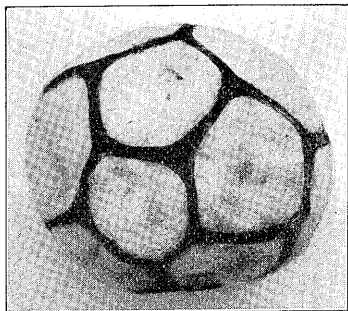
屬ヨリ離シテ *Ileodictyon* 屬トシテ區別スルト書イテ居ルノデアル。

以上述べた通、かごたけヲあかかごたけト離シテ別ニ *Ileodictyon* ナル新屬ヲ TULASNE ガ創設シタ昔時ハ、是等ノ菌ノ標本ハ僅少デ、殊ニ前者ノモノハ不完全ノモノシカナカツタ時デ、今日デハ多クノ完全ナル標本ニ就テ眞ノ形態性質ガ觀察サレタル結果、かごたけモあかかごたけモ共ニ *Clathrus* 屬ニ入レルガ妥當デアルトセラル、ノデアル。



然ルニ現代ノ菌類書中、マダかごたけ 第 8 圖 かごたけ (*Clathrus gracilis*)  
(*Clathrus gracilis* 及 *Clathrus cibarius*) ノ脚苞ヲ失ヘル乾燥品 (BERKELEY 圖)  
ニ *Ileodictyon* ナル屬ヲ用キテ居ルノガアルノハ、是等ノ菌ノ種屬ニ就テ充分ニ検討セズ、只從來ノ儘ノ記載ヤ圖ニ示サレタルモノヲ正シイモノト信ジ、元ノ分類ヲ襲用セルニ過ギナイノデアル。私ガ從來採用シテ居ル菌類ノ學名ハ悉ク之ヲ検討シテ選擇シテ居ルト謂フノデハ無ク、菌其物ヲ誤リナク指シテ居ル學名タルヲ主眼トシ、權威アル學者ノ名著中ニ載レル一般ニ使用サレテ居ル學名ヲ便利ナモノトシテ採用シテ居ルノガ多イガ、かごたけヲあかかごたけト同屬トシテ、前者ニ *Clathrus gracilis* ナル學名ヲ選ンダ理由ハ *Ileodictyon* 屬トスルヨリモ、此方ガ一般ニ使用サレテ居テ歐米ノ菌類書ヲ繕ク人ニ便利デアルト謂フ許リデナク、此方ガ正シイト思フカラデアル。

要スルニ歐洲ノ學者ガ生ノ儘ノ眞ノ形狀、性質ヲ觀察スルコトガ出來ズ、且標本モ充分ニ得ラレナカツタ昔時ニ作ラレタ *Ileodictyon* ナル屬名ハ、かごたけ類ノ兩菌ニハ不適當デアルカラ、其後 1862 年ニ SCHLECHTENDAL ガ改メタ *Clathrus gracilis* (BERK.) SCHLECHT. ナル學名ヲかごたけニハ採用スベキデアルト思フ。尙 *Clathrus gracilis* ト *C. cibarius* トハ非常ニ酷似セルモノデ、只形ノ大小、托枝ノ細太等僅カノコトデ、兩々別種トシテアルガ、是レハ個體ノ相違デ、多數豊富ニ生ノ標本ヲ獲テ比較スルコトガ出來タナラバ、屹度兩者ノ中間ノ性質ノモノガアツテ、兩者ハ判然ト區別スルコト能ハズ、從ツテ是等ハ同一種タルベキモノデアルトノ結論ニ達スルデアラウト私ハ想ツテ居ル。第 9 圖ニ示スモノハ 1918 年 5 月福島縣西白河郡大沼村デ鈴木重爲氏ガ採リ、目籠狀ナル托ノ内部ニ綿ヲ填メテ、自然ニ乾燥セシメタルかごたけノ標本デ、是實



第9圖 かごたけ (*Clathrus gracilis*)ノ脚苞ヲ去リ綿ヲ填メテ乾燥セシメタルモノ(川村寫眞、縮小)

ニ本菌ガ日本ニモ産スルコトヲ知り得タル最初ノ標本デアル。當時種屬鑑定ノ爲、私ノ許ニ送ラレタルトキ、此標本ニ就テハ之ヲ *Clathrus gracilis* ナルヤ將又 *C. cibarius* ナルヤヲ直ニ決定シ得ナカッタガ、後ニ *C. gracilis* ノ生ノ標本ヲ採リ、夫レヲ乾燥セシメテ、初メテ種屬ヲ確實ニ決定シ得タノデアル。何トナレバ其乾燥セル最初ノ標本ハ英國 Kew gardens ニアル *C. cibarius* ノ壓搾乾燥標本(第7圖)ノモノト餘リニモ能ク似テ居タノデアル。

*Phalloids* 類ノ菌中ニハ稀ニ産スル爲、甲乙別種トサレテ居ルモノガ果シテ別種タルモノナルヤ、又個體ノ相違タルニ過ギザルモノナルヤ判然シナイモノガ多クアル。殊ニ不完全ナ圖ダケアツテ、種屬ガ決定サレテ居ルモノノ如キハ、尙更今後多クノ新鮮ナル標本ヲ獲テ充分ニ検討シ得ル時迄ハ假ノ分類タルヲ免レナイモノガ多クアル。

## *Phymatomyces*, a new genus of the Tuberaceæ

by

Yosio KOBAYASI

小林義雄：西洋松露科ノ一新屬

In the summer of 1937, the writer made a collection of the Tuberaceæ on Mt. Daisetu during his journey in Hokkaidô (Yezo) of Japan.

This fungus, which is seemingly hypogaeous, was found on the crumbled soil among the forest of *Abies Mayriana* mingled with *Picea jezoensis* of mountain-slope.

The writer is proposing a new genus by this fungus, which was found, fortunately, in its adult stage. This genus, in its structure of fruit-body, is nearly allied to the genus *Hydnотrya*, from which this is distinguished by